

特別展

戦国の強者

せんごくのつわもの

津田重久

つだえいこうのかみしげひさ

見よ！富山藩士津田家先祖の生き様を

平成27年

10月3日[土] ▼ 11月29日[日]

会期中無休

開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料

一般 400円（320円）
小中学生 200円（160円）

※（内は、20名以上の団体料金 ※土・日・祝日は中学生以下無料）

主催 富山市、富山市教育委員会

津田重久所用 投頭巾形寒兜付溜塗白糸五枚胴具足（井伊美術館蔵）

富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM



富山藩の最上級家臣である高知組に、津田家という藩士家があります。津田家は代々、組頭の中でも最も格上の馬廻組頭を勤めたほか、若年寄にも昇進した由緒ある家柄でした。

この家の歴史を紐解くと、もともとは山城国(現京都府)に出自をもつ武士で、はじめ室町幕府管領の細川家に仕えていたと伝えられます。その津田家が、加賀の前田家に仕えるようになったのは、戦国時代の当主であり、武勇で名を馳せた津田遠江守重久の時代でした。

戦国の強者

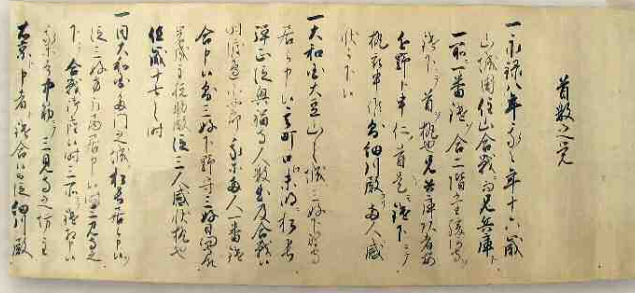
津田遠江守重久

重久は、現代ではあまり知られていませんが、江戸時代の加賀藩内で「騎当千の剛の者」と称された人物です。また、三好三人衆、足利義昭、明智光秀、豊臣秀吉・秀次、そして前田利長と、自らの力量によって新たな仕官の道を切り開き、戦国の世を渡り歩いた経歴を持つ武将なのです。

本展では、腕一本で生き抜いた「戦国の強者」ともいうべき、重久の激動の生涯に光をあてます。さらに、その子孫であり、「武」の家として続いた富山藩士・津田家の歴史を紹介することで、戦国時代から江戸時代にかけての武士のあり方について、思いを馳せていただく機会にしたいと思います。



豊臣秀吉宛行状
(個人蔵)



首数之覚(部分)
(当館蔵)



三壺聞書
(金沢市立玉川図書館蔵
加越能文庫・石川県指定文化財)

「戦国の強者 津田遠江守重久」展を より楽しむ特別公開講座

日時: 10月25日(日) 午後1時30分～3時30分
会場: 富山市民プラザ 3階 AVスタジオ(富山市大手町)
定員: 先着80名(事前申込不要) 参加費: 無料
講師: 坂森幹浩・萩原大輔(当館学芸員)

学芸員による展示解説会

10月18日(日)、11月15日(日)、11月29日(日)
各日 午後2時より
申込不要・参加無料(本展の観覧券が必要です)

■アクセス

北陸新幹線・あいの風とやま鉄道 富山駅から徒歩約10分
地鉄バス「城址公園前」下車 徒歩2分
市内電車環状線「国際会議場前」下車 徒歩3分
富山空港より連絡バスで20分
北陸自動車道 富山ICより車で約15分

■駐車場

当館には専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。
最も近いのは城址公園地下駐車場です。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM

〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内

TEL: 076-432-7911 FAX: 076-432-8060

<http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/>